

●屋久島・裏腹な島 巨木と苔、山と海岸、千年屋久杉と子ガメ①
鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン（シンガポール出身）



国内初の世界自然遺産に登録されて、豊かな自然を持つ屋久島は樹齢数千年と言われる屋久杉や白谷雲水峡など、ここにしかない自然がたくさんあります。

子供の頃にジブリの「もののけ姫」の映画を見たときから、ずっと月の裏側のような手が届かない場所だと感じていました。ですが、みなさんのおかげでその夢を果たす機会をもらいました！鹿児島県庁の国際交流員としてこのメールマガジンのコラムで鹿児島の魅力をみんなに紹介しますが、今回は屋久島についてです。

屋久島についてどんな印象を持っていますか？

以前、「縁豊かな苔の森しかない島」が私の第一印象でした。しかしその通りであり、それ以上のものもたくさんあると気づきました。

11.24「一日目」

到着

出発当日、同行する韓国の国際交流員と早朝に会い、ジェットフォイル「トッピー」で屋久島に向かいました。鹿児島湾から外洋に出る瞬間、興奮が湧きあがってきました。

冒険が始まりました！

約2時間後、屋久島に着き、港で県屋久島事務所の田中主幹、米原主事と運転手さんに温かく歓迎してもらいました。



ジェットフォイル「トッピー」で鹿児島湾を出る直前の開聞岳



屋久島の美しい青い空

屋久杉自然館

実際の視察へ行く前に、まず理解が必要ですね。

そのために、先に屋久杉のことを学べる屋久杉自然館へ！



美しい木目

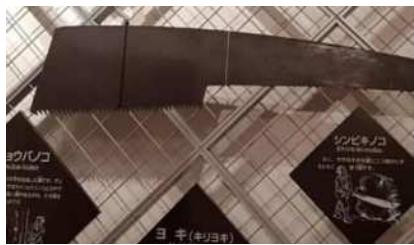


大雪の重さで折れた縄文杉の枝「いのちの枝」

屋久杉自然館は、屋久杉のすべてを知ることができる魅力的なところです。江戸時代の人々が使った道具をはじめ、今の保護状態から屋久杉の特徴までの展示や屋久杉に関する情報がたくさんあります。展示物を見ながら、杉の香りが空間に浸透し、すごく心地よい体験でした。

屋久杉という名前は樹齢千年以上の物だけを指し、千年未満の物は「小杉」と呼ぶことは面白かったです。樹齢 900 年の木でもここではただの子どもです！

輪切りにした巨大な円板も展示されて、数えきれない年輪は成長の遅い屋久杉の年齢がはっきりと分かりました。



巨木用の巨大ノコギリ



大きな円板にある古代からの年輪

また、1本の屋久杉に多数の着生植物が生えていることも学びました。

例えば、樹齢三千年の壮大な紀元杉だけで30種以上の植物が共存しています。



紀元杉の枝と着生植物の紹介



削って香る屋久杉の体験コーナー



踏むといい音がする杉ブロック
でできた床

昼食



店「あわほ」での「トビウオ飛んだ定食」
は美味しいし、名前もかわいい！

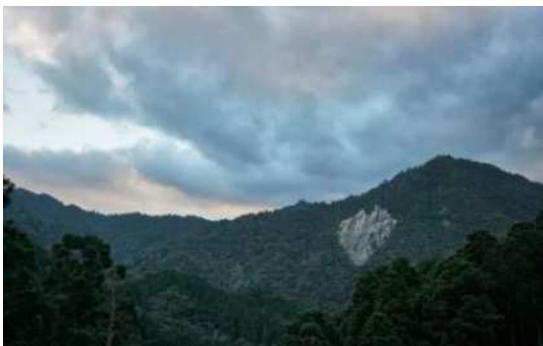
次は屋久島での最初の食事、地元名物料理のトビウオ定食です。トビウオを吃るのは初めてで、味も外観もすごかったです。

丸ごと焼いたトビウオを甘辛いソースで味付けして、しっかりとした歯ごたえがある白い肉とパリパリの食べられる羽（！）はとても美味しかったです。

山へ



食後、山へ向かいました。フレンドリーな運転手さんに運転してもらって、豪華な空と山の風景を見ることができました。



ハート形の地すべり傷跡



パステルカラーの空

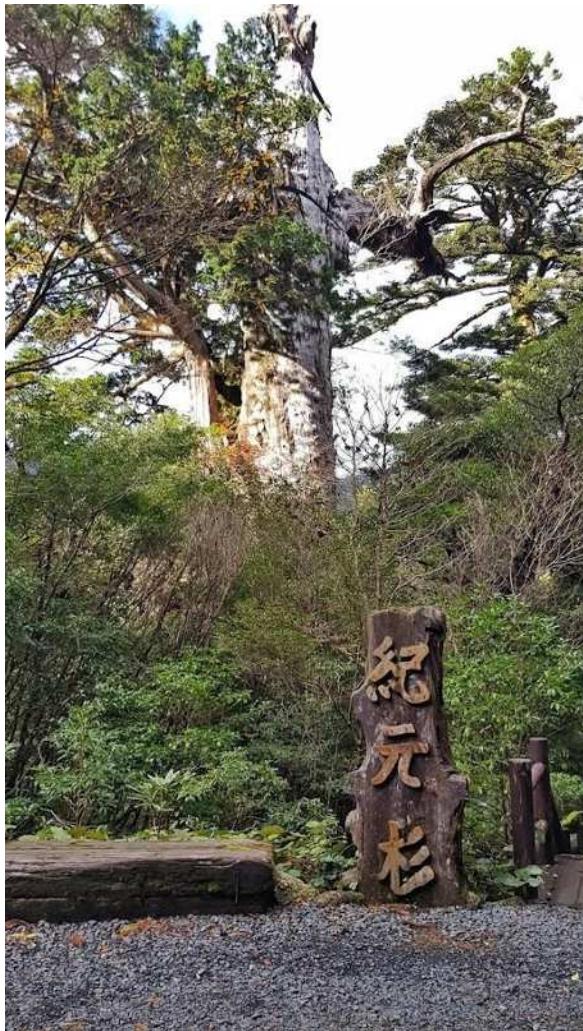
九州最高峰の宮之浦岳がそびえたつ屋久島で、南の沖縄みたいな暖温帯から北の北海道みたいな冷温帯までの多様な植生がこの一つの島で成長していると教えてくれました。

これはまさに日本列島の縮図のような風景揃いですね！



途中で見た2匹の鹿（ヤクシカ）と猿（ヤクサル）一家

紀元杉



樹齢3千年の紀元杉



美しい木目

最初の目的地は屋久杉自然館で学んだ紀元杉でした。壮大で綺麗な姿は写真だけでは伝えられなく、その3千年という樹齢も想像以上でした。

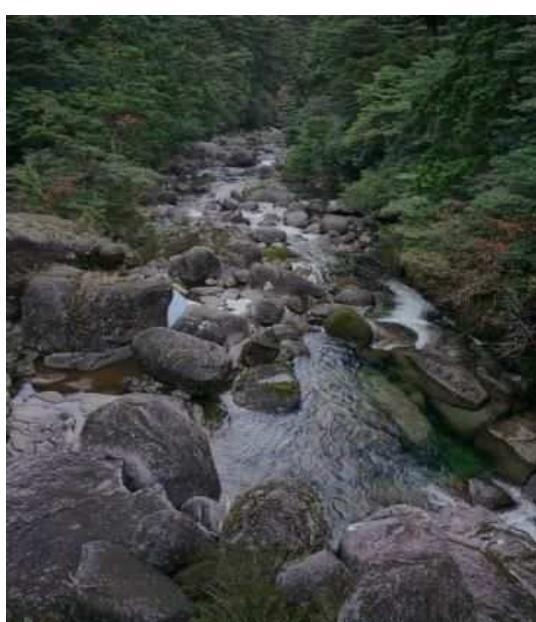
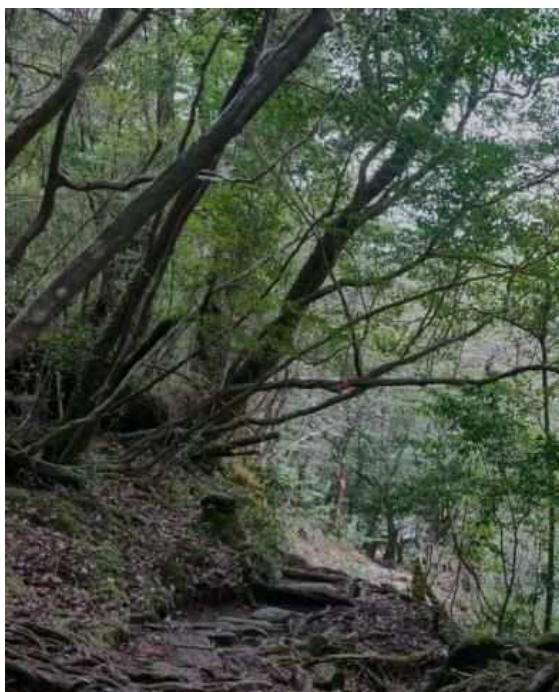
歴史を何千年的間も見守ってきた杉だと思うと感慨深かったです。

屋久杉ランド

紀元杉の次は屋久杉ランドでの短いハイキングに行きました。

正直に言うと、高いところが苦手な登山初心者の私にとってはとても怖かったです。

しかし、巨大な屋久杉と静穏な風景がすごく素晴らしいので怖かったです、後悔全然ないです！私のペースに合わせてくれたみなさんにも本当に感謝しています。



快適な渓流



登山道がまだ楽だった頃の美しい吊り橋

夕食



トビウオひつまぶし

夕食もおいしい郷土料理でした。今回は屋久島の特産トビウオのひつまぶしセットです。元々ウナギ料理のひつまぶしスタイルからトビウオでアレンジした食です。

まずはそのまま、次は薬味を加えて、最後は自家製のだしをかけて食べる方法は、面白くて美味しかったです。



日の入り

宿泊

キレイなホテルの心地よい部屋に泊まりまして、一晩よく休んでぐっすり眠りました。

翌日はいよいよ今回の取材の主役：白谷雲水峡！（※次号で掲載します。）



エコホテル ソラ

ホテルから見える絶景の日の出